# Story OS

# 今あるデータに+α、+精度を高めて、カイゼン活動 作業時間、工程進捗・負荷が正確に見える化!現場、社員、計画、経営に貢献





スエナミ工業株式会社 (関市・板金加工 溶接)

# 事例のポイント

- □ 現場で収集している作業実績の精度とリアルタイム性を高め、また、必要なデータを 追加することで、カイゼンに必要な情報を見える化し、当日、社内で共有・活用
- □ 異常な遅れへの迅速な対応、正確な工程管理等の結果、リードタイム短縮
- □ その結果、多品種・小ロット・短納期製造を行いながら、顧客の要望納期達成率を改善

### 経緯・課題

- ・生産管理システムに正確で必要なデータが 入力されていないため、作業時間、工程負荷、 進捗状況等が把握しきれていない
- ・ 人手作業が中心の後工程では、作業者ごとに、 バーコードによる実績入力のタイミングや方法が 異なるとともに、入力ミス・未入力も発生
- ・ボトルネックであるレーザー加工機(前工程)では、 正確な可動率や負荷等がわからない
- ・正確なデータがないため、計画が実態と乖離したり、 実績をカイゼンや経営に役立てることができない

#### したり、 ない 設備による加工と人手作業の連携・同期が重要な工場

# IT・IoT活用の概要

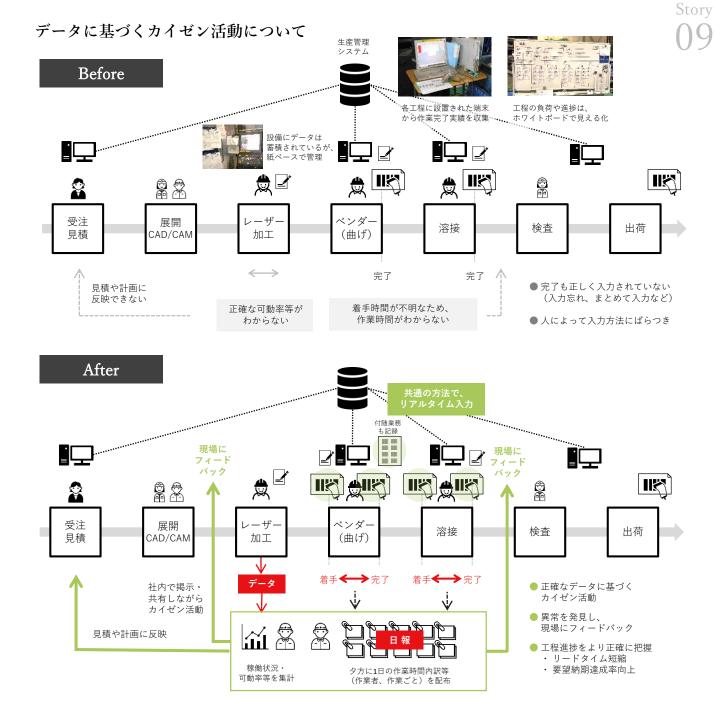
- ・正確な作業時間を把握し、適切な計画を立てるため、 現場で、着手と完了をバーコードでリアルタイムに 入力することを作業者に徹底
- ・正味作業だけでなく、付随業務についてもデータを 収集し、作業者ごとに時間の内訳を見える化。 当日夕方、社員にフィードバック、社内で共有
- ・設備が蓄積していたデータを取り出し、可動率・ サイクルタイム等を集計し、社内に掲示・共有



レーザー加工機からのデータ収集・活用方法などを助言

# IT・IoT活用の成果

- 正確なデータに基づく工程進捗管理・カイゼン活動により、リードタイムが短縮した結果、 削減された時間をカイゼン活動に充て、社員の意識も高まるという好循環が生まれている
- データの蓄積によって、標準的な作業時間が明確になり、それを計画や負荷分散、見積などに 反映できるようになったことで、計画に基づく積極的な工場管理・運営に転換しつつある



# まとめと今後の展開

- カイゼンに必要なデータを収集し、現場にフィードバックする仕組みが確立した結果、 社員のカイゼン意識向上に加えて、納期短縮による顧客満足度向上などの効果が得られた
- 今後はデータ分析を通じ、標準時間設定、計画の精度向上、カイゼンの深化等に取り組む

# 会社概要

スエナミ工業株式会社

〒501-3957 関市側島286 TEL. 0575-28-6226 FAX. 0575-28-6171 創業/昭和32年4月 資本金/1,000万円 従業員数/23人 産業機械、建築部材、農業機械、焼却炉などの金属部品を中心に、 レーザー加工、板金加工、各種溶接、組立等を行う。

創業以来、航空機等の品質および製造技術をベースとして、 常に高品質、小ロット多品種、短納期等の社会的ニーズに応え、 様々の分野で信頼と実績を獲得。